



# インフルエンザ

## 症状

かぜよりも急激に発症し、重篤感があります。急な高熱（38℃以上）、悪寒、全身のだるさ、筋肉痛などが現れます。そのほかにも、腹痛や嘔吐、下痢などの症状を起こすこともあります。発症後、数日してから咳や鼻水がひどくなり、気管支炎を起こすこともあるので注意が必要です。

## 注意するポイント

治療の基本は安静です。休養と栄養を十分取りましょう。発症後 48 時間以内に抗インフルエンザ薬を服用すると、発熱期間を短くすることが出来ます。インフルエンザを判定するためには迅速検査がありますが、発症してすぐには正確な判定ができないこともあるので、医師と相談しましょう。



## インフルエンザの出席停止期間について

出席停止の日数の数え方について、発症した日は数えずに、その翌日を第 1 日とします。必ず医師の診断を受けてください。

	発症日 (0日)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
発症後 1日 目に解熱した 場合	発熱 ☹️	解熱 0日 😊	解熱 1日 😊	解熱 2日 😊	解熱 3日 😊	😊	登園 可能 😊	解熱後 3 日たっても 発症後 5 日たないと 登園できません		
	出席停止 →									
発症後 3日 目に解熱した 場合	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	解熱 0日 😊	解熱 1日 😊	解熱 2日 😊	解熱 3日 😊	登園 可能 😊		
	出席停止 →									
発症後 5日 目に解熱した 場合	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	解熱 0日 😊	解熱 1日 😊	解熱 2日 😊	解熱 3日 😊	登園 可能 😊
	出席停止 →									



\* 登園のめやす：発症した後 5 日経過し、かつ解熱した後 3 日経過していること。  
（参考文献：厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン（2018 年改訂版）」より）

※ 「乳幼児、特に 3 歳以下の場合、生まれて初めて罹患した可能性が高く、抗体を保有しない場合が多いため、ウイルスの排泄期間が長くなる可能性が指摘されています。